

ビザなし交流記録

訪問期間:2009. 9. 18~2009. 9. 21

早稲田大学 法3 多田彩

☆団員編成

☆9月17日【結団式・事前研修会】

【結団式】...主催者、主賓（根室市副市長）、団長の挨拶

【事前研修会】

1. 北対協特別顧問

⇒・歴史的経緯、北方4島を巡る日ロ双方の主張の現状

・ビザなし交流にあたって気をつけること

→①伝えるもの（領土問題）を持つ

②相手（島民）を理解する気持ちを持って接する

③次（の訪問）につなげる

2. ユーラシア21研究所常務理事「北方4島の現状について」

⇒・4島のロシアにおける位置づけ、人口等

・択捉島の産業

→比較的高品質な漁業、水産化工業 別名「ギドロストイ王国」

2000人くらいが季節労働者

・択捉島の娯楽施設...庭園、温泉、レクリエーション施設「択捉ドリーム」

・クリル諸島社会経済発展連邦特別プログラム

3. 「最近のロシア情勢について」渡邊 光一（国士舘大学大学院客員教授）

⇒・日本ではなぜ近年中の返還の可能性が少ないという認識になってしまっているのか

・メドベージェフ、プーチン体制と対日姿勢

→強いロシアの復興

・日ロ外交交渉の問題点

→○4島一括返還以外の返還論（2島、面積2等分 etc）で世論が分裂のように見られる

○ロシア首脳との信頼関係の構成

○返還後の4島のデザイン

・どう外交を構築するか

→ロシア議会、知識人への働きかけ ロシア世論への働きかけ

4. その他、外務省の職員の方からのビザなし交流時の注意事項（別途資料あり）

☆9月18日（金） 天気：くもり

*一日移動

9:10 根室港出港

- ・ロサ・ルゴサ号へ乗船
- ・見送りに20名くらいの人
- ・団員・船員以外に、日本に病気の治療に来ていた島民・その付添の島民が乗船した。自由に団員と話せる。
- ・波は穏やかで順調



10:15 中間点（以後、現地時間で時差+2時間）

- ・船内をふらふらしていると島民と遭遇する。そのうちの12歳の女の子と話をする。領土問題などは話せず、お互いの家族構成、自分のことなどを会話集を使って話す。おそらく母親と付添の形で来たの
だろう。色丹島の住民。
ホームステイ先でもらったらしい大きなスティッチのぬいぐるみを自慢げに見せてくれた。他にも島民の男の子（11歳2人）がいた。

15:15 国後島古釜布（フルカマップ）湾着

15:45~16:30 入域手続

- ・古釜布湾（実際には湾で岸部に着くのではなく、国後島すぐ近くの海に錨をおろしただけ）に着くと国後島から船がやってきて、行政官らしき人物が乗り移った。そして、船内で入域手続をしている間、島民の荷物を運ぶ。わずか6人くらいの荷物なのに、6畳の部屋がいっぱいになる位の荷物量。洋服はタッパー6杯分、電化製品（掃除機 etc）もたくさん。できるだけ多く日本の物を持って帰ろうとしている姿に島の物不足を感じる。



- ・相手の船に乗っているロシア人の中には数人制服を着た人が交じっている。警察？
- ・なぜか少し威圧感を感じてしまう。

・いつの間にかロサ・ルゴサの旗はロシアになっていた。

16:40 択捉島内岡（ナヨカ）湾に向け出港

☆9月19日（土） 天気：晴れ

03:25 択捉島内岡湾 錨泊

09:45～10:10 はしけに乗船し択捉島上陸

10:20～10:40 行政府幹部訪問@芸術学校小ホール

ボンダリ地区行政長代行 スナプコフスキー第一副行政長

・日本側の団長：メドベージェフ大統領と麻生首相の会談で領土問題について話し合いがあったが市民レベルの解決が必要。

・島側：近くに住む者同士仲良くしなければ。親交・相互理解がビザ無し交流の意義。

10:45～11:00 ロシア語講座

・ロシア語の語源や有名な詩を朗読してくれた。しかし、アルファベットもわからない団員（ほぼ全員）にはまったくわからない。

11:00～11:15 日本家屋の視察

郵便局



択捉水産会



・水産会のほうの建物は寄付金で建てた。郵便局の建物も寄付により建てられた。45年にロシア軍が侵攻したことを知らせた建物らしい。現在は建て替えて日本とロシアとの友好の家を作ろうという案が出ている。

11:25～11:50 墓参（紗那日本人墓地）

- ・日本人とロシア島民の方々のお墓が隣り合わせにある。
- ・寺もない択捉島で誰が普段は墓参に来てくれるんだろう？
- ・ロシア人島民と日本人の「共生」は可能か？と問う前にお墓は「共生している。



12:00～14:00 屋外で昼食（温泉地）

- ・建設中らしき温泉地でバーベキューをいただく。（作ってくれたのは島民の婦人方）
- ・庭園は日本庭園風、オブジェもある。足湯もあり、日本的な様子を感じる。
- ・まだ建設中で、季節労働者のアルメニア人が作業を行っていた。
- ・メニュー

黒パン、クッキーみたいなパン、たら・ますのアルミホイル蒸し、トマトなどのサラダ、サラミなどのハム類



14:15～15:20 グループに分かれ視察

児童絵画展→資料館@芸術学校

- ・資料館には第二次大戦終了間際の写真、島の資源、島の歴史を示す資料が展示してある。
- ・島の紀元はアイヌ人として展示がしてあった。
- ・日本人の遺品の展示もあった。（茶碗などの骨董品）



写真展示



満州での捕虜
骨董品

おはじき等



15:30～17:10 ホームビジット（茶会）

- ・公民館の班だったため、一般家庭にはお邪魔できなかった。
- ・島民の方5～6人と訪問団員15人ほど、通訳一人
- ・話した内容
⇒・将来なりたいもの

- ・若者の自由時間の過ごし方
- ・親と仲良くしているか？
- ・日本に来たことがあるか？→日本に訪問したいと交渉をする人がいた。
- ・ほかに、ロシアの民謡などの歌を歌ってもらった。
- ・ただ、時間が少なかったため団員からの質問はほとんどできなかった。
- ・その後、時間調整のためフリーで島の子供たちや島民と話すことになった。



- ・お菓子もたくさん用意してもらった。
- ・ほかにホームビジットで一般家庭にお邪魔した班では、ささやかなプレゼントをいただいたり、ウォッカをいただいたりしていた。
- ・どちらかという他愛ないもない話をして自由に交流する感じ。
- ・個人的にはロシア語が話せないためほとんど話せず、ザ・ピーナッツの歌を一緒に歌ったり（ロシア語に合わせる）、恋人もいないし結婚もしていないという話をしたり。島民の結婚年齢は21歳だとかでそんな話題ばかり。

17:10~18:10 商店視察

- ・商店は10か所くらいあった。
- ・結構いろいろ揃っていて、コンビニくらいの規模の店舗。
- ・Made in KOREA が結構多い。

18:25~18:50 はしけに乗船し帰船：択捉島内岡湾に停泊

- ・団員の方はそれぞれ自由に情報交換をしたりして、24時位まで起きていた。



☆9月20日（日） 天気 くもり時々雨

08:25~09:00 はしけに乗船し択捉島に再上陸

- ・島側の申し出により30分繰り上げて上陸できるようになった。7月に来たときには、波が高いなどと言われ何時間も遅れただけに早まることは珍しいらしい。

10:10~11:10 第三硫黄川視察（温泉地）

- ・舗装がない悪路をものすごい速さで走っていくと、地熱発電所が見える。

- ・霧がかかっていて景色が見えなかったが、晴れているとすごく景色が良いらしい。
- ・1年前はただ桶があるだけだった温泉地（左写真：2008年度）に、リゾート施設（右写真）がで



きていた。



- ・このリゾート施設がある奥まで1年前は来れなかったらしい。
- ・島民の方々も来ていて、水着を着て入っていた（混浴）。バーベキューをしながら入るとか。
- 水量調節しなくて良いの？と思いたくなるほどの温泉量。足湯場もある。
- ・団員男性方も水着がないものの下着で入ることに。結構多くの団員がはいった。

12:00~13:00 昼食 (カフェ『フォルトゥーナ』)

- ・おそらく地元でも結構きれいな方なんだろうなーというくらいのカフェ。
- ・食事はとてもおいしかった。



・ロシア気分を味あわせてくれるような気を使ったメニューだった。

13:20~15:00 択捉島民との交流 (市立体育館)



(訪問団側の出しもの：和風作り、習字・折り紙、しゃぼん玉、ジェスチャーゲーム他)

(択捉島側：ぴよんぴよん袋リレー、射撃ゲーム、早着替えゲーム、魚釣りゲーム)

・参加してくれたのは30~40人くらいの子供たち。(おそらく6歳くらい~20歳まで)一番多かったのは小学生くらいの子供たち。他に大人も20名くらい。

・私は外の遊び係だったが、小さい子供たちは体育館内でやる和風やシャボン玉が良いらしく、14歳~16歳の男の子たちと訪問団 vs 島民で対抗サッ

カーをすることになった。

あまり真剣になると友好モードがなくなるのである程度力を抜きながら。結果は2-1で訪問団の負け。

・その後、大人や小さい子も数人混じり、ジェスチャーゲームをした。言葉が通じなくても結構楽しく遊べる。



射 撃 ゲ ー ム
折 り 紙



15:10~16:50 意見交換会（市立体育館）

（訪問団側司会者：団長、択捉島側司会者：グボズデツカヤ行政職員）

・意見交換会で話した概要 *島民の質問→訪問団員の回答→訪問団員からの質問→島民の回答→島民の質問...のように進行。

（手記と記録によるため正確ではない）

【島民】 島ではスポーツの競技会が増えているのですが、日本では何のスポーツが人気ありますか？

→サッカー、バスケ、フットボールなど

【団員】 島の生活で何をしている時が一番楽しいですか？

→・スポーツやハイキングをしているとき。島には火山など豊かな自然がありそれを見ながらハイキングをするのが楽しい。冬には空気で膨らませたビニールそりで滑って遊ぶのが楽しい。

【島民】 島では家族との絆を深める行事が盛んなのですが、日本では家族で参加できるスポーツなどイベントはありますか？

→家族でよくキャンプに行ったり、バーベキューをしたりする。または、学校の運動会や学芸会では家族が見にくる。

【団員】 島ではインターネットがどのくらい普及していますか？

→・通信は（携帯？）電話で行っている。コンタクト（SMS）や同窓会ネットがある。最近その通信でトヨタ BD（車種？）が本土で人気があることを知った。携帯で本土やドイツの人と通信を行っている。

・街中ではインターネットが普及している。EMS（おそらくヨドバシカメラ的なところ？）に行列ができるくらい。それに、携帯で様々な情報を得ることができる。

【島民】 島では砂浜でゴミを拾ったりして環境保全活動を行っているが、日本でもエコのボランティア活動が盛んですか？

→日本でも浜辺でゴミを拾おうというキャンペーンや地域の公園を掃除する活動がある。また、障害者やご老人がいる福祉施設にボランティア活動としてお手伝いに行くこともある。

→（島民・20代だと思われる女の子）

自分も大学でボランティア団体のリーダーをしている。「健康の生活」というテーマのサークル。そこでは、孤児施設のお手伝いや孤児が楽しく過ごせるようにする活動をしている。また、（学校には）月一で「無償労働の日」がある。

【団員】 日本で興味があることは何ですか？

→日本独特の文化。水のアトラクション（？）。伝統的な習慣、歴史。

【団員】（連続ですが）島の学校では日本のことをどのように学んでいますか？

→機械製造の技術が発達した国。技術の進んだ国。

歴史については祖国のものを学ぶので日本はほとんど出てこない。しかし、クリル解放についてはサハリンの郷土史を学ぶ時に学んでいる。また、気候が似ていることも学ぶ。

【島民】 ロシアではビザを取っているんな国へ行けるようになったが、日本では外国旅行はどのくらい発達していますか？

→・日本では若い人たちがよく海外に行っている。また、ビザをとることなく行ける国が多い。

【団員】 島民2世。親がいた島に来て光栄。この島にいて幸せに思うときはどんな時ですか？

→幸せは場所によって変わるものではないので、この島ではなくても幸せになれると思う。ただ、この島で釣りをしている時は幸せを感じる。

- ・休暇で島を出ていくときに飛行機に乗ると幸せに感じる。
- ・娘が2人いるが、家族とこの島にいるときに幸せだと感じる。

【島民】 日本では若者の積極的な余暇の過ごし方をどこが担っているか？

→行政。学校。（教育委員会の人か団員にいたのでその団員が答えた）

【島民】（連続ですが）ロシアでは成績上位者が表彰されるがそういう制度はあるか？積極的な政策をあまりしていないならば勉強そしたくない子はどんどんダメにならないのか？

→日本は能力に応じた指導をしているため、全員に勉強をおしつけることをしない。ただ、進路指導でこの才能にあったとこに進めるようにしている。

【団員】 島ではどのように海と関わっていますか？

→焚き火。蟹をとったり。洞窟にいたり。

【島民】 日本での若者の問題は何？

→就職難。若者の政治離れ。

→島民やロシアでも同じです。

【団員】 現在建設中の空港はいつ完成する予定なのですか？

→2010年に完成する話だったが、延期をすることになったため自分たちでもわからない。

～以下、お互いの質問が尽きたため自由に～

【団員】 クリル発展計画で変わったことはあるか？

→携帯。また、一年前に新しい病院ができ、すべての診療科の先生がいるようになった。しかし、まだ医者は足りていないが。

【団員】 今の島での生活で望むことがあるとしたら何ですか？

→気候・天候が変わりやすいので大陸との交通が途絶えてしまうときがある。天候に左右されにくいような交通手段がほしい。

もっと多額の支援金がほしい。道路に舗装をしてほしい。

【団員】 日本に住みたいですか？日本の大学に来たいと思いますか？

（島民3世 幼い頃から祖母からソ連侵攻の話聞き、ソ連人を憎んでいた。しかし、ロシアのことを学ぼううちにその気持ちが変わり逆にロシアのことが好きになってきた。...という背景を説明）

→あなたの祖母の言うことは正しいと思う。自分も戦争の話を親から聞いて育ってきた。

60年代のブレジネフで政策がすごく変わり、ロシアはすごく歓迎しやすい国になった。日本にはぜひ行きたい。また、娘には韓国等の友達がたくさんいる。去年は自分が日本にホームステイに行ったが政治的な話をせずに非常に友好的な話できた。

・この島にいるとビザ無し交流事業で簡単に日本に行くことができるが、本土にいると日本へ行くことは難しい。半年～1年かかってしまう。韓国へは簡単に行けるんだけど。

- ・小さい子供たちが多かったので、島民で話した人は5～6人。
- ・団員側も質問はある程度用意していき、答える人も決めていった。
- ・島民側も少し打ち合わせてきた感じがあった。
- ・意見交換会のテーマは島側の提案で「若者の自由な時間の過ごし方」。結構脱線をしまくったと思う。
- ・島民3世というのを団員側は出していたが、島側の対応は少し冷たい感じがした。島民0世というのがこじつけっぽくて、質問内容もいまいちだったことも原因だったと思うが。



- ・最後に島民が歴史認識で『クリル解放』と発言したことに、日本側はそのような認識ではないことを軽く主張した。
- ・もう少し団員側は自由に発言させてほしかった。みんな委縮していたかもしれない。また、若い世代というより、少し年とった団員が話過ぎた気がする。せっかく大学生が多くいたのに、団長に信頼されていないため全くあててもらえない。去年の意見交換会で「2島返還」の可能性を持ちだした人がいて問題になったことが引きずっていたらしいが、少し縛りすぎだったと思う。

17:50～18:40 夕食交流会・ギドロストロイ社員食堂

(ボンダリ地区行政長代行、スナプコフスキー第一副行政長)

- ・行政庁に勤めている人たちが夕食を作ってくれた。見ているだけで交流はなし。団員たちだけで話しつつ食べるのみ。



19:00～19:15 はしけ移乗、帰船

19:20 国後島古釜布湾へ向け出港

- ・波がすごく高かったためほとんどの人が船酔いでダウンする羽目になった。
- ・ロシア人の人がまた乗ってきた。日本へ向かう病人と付添人。日本へ行けるには倍率が結構高いらしい。しかし、日本に来た病人は案外ふらふら外を見て回ったりしている人が多いらしい。(同行医者談)

☆9月21日(月) 天気 晴れ

06:10 国後島古釜布湾 投錨

08:50～09:10 解団式、報告会

- ・根室着後の会見の予行演習などを軽く行った。

09:35～10:00 出城手続き

10:10 根室港へ向け出港

12:15～12:15 根室港着岸、手続き、下船

12:40 解散（千島会館）

13:00～13:30 代表者記者会見（千島会館）

- ・マスコミは3社ほど。NHK、北海道新聞、産経くらい。
- ・トラブル目当てに来たらしく、今回のビザ無し交流はまったく島とトラブルがなかったためつまらないという感じ。

以上